

【定数】パブリックコメントに対する考え方

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見(議員選出)
考え方	様々な職業、年齢、居住地域などから議員が選ばれ、多様な市民意見が市政に反映されることはとても重要で必要なことです。 そのために必要な議員定数とあわせて適正な議員報酬についても検討を行ってきました。 多様な市民意見をお聴きすることについては議員の責務であり、議会基本条例で定めている議会報告会や意見交換会などを積極的に実施することで、削減しても維持、充実させることが可能であるとの意見が多くあり、削減の方向になりました。 地元選出の概念ではなく全ての議員が亀岡市全域の議員として積極的に活動することによって市民意見を聴取する考えです。

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見(議会機能の低下)
考え方	議員の定数を削減することは、市政に市民意見を反映させる機能やチェック機能を損なうとの見解もありますが、議会報告会などで民意の吸収機能の充実及び委員会での調査充実などによる議会運営上の工夫に努めることにより、削減しても議会機能を維持、充実させることが可能であるとの意見が多くあり、削減の方向になりました。 より機能的に議会活動を展開していくためにはどうかという視点で検討を進めた結果、委員会審査も考慮するなかで24人という結論に至りました。

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見(議員活動量増大)
考え方	いま議員には議会の意思決定機関としての役割を果たすことはもちろん、政策立案、政策提言が求められています。議員の活動量が増大することは否めませんが、さらに議会運営上の工夫に努めることで、削減しても議会機能を維持、充実させることが可能であるとの意見が多くあり、削減の方向になりました。

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見(コスト)
考え方	今回の検討ではコスト削減の面で議員定数の削減を考えたのではなく、議会の本来の役割を果たすために、議員定数は何人が適正であるのかを検討してきました。 議員定数を削減することは結果としてコスト削減になりますが、単なるコスト削減ではなく、議会や議員の機能強化につながらないと意味がないと考えています。

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見(行政縮小)
考え方	ご意見は議員定数を削減すると市政運営が衰退していくとお考えと理解しました。亀岡市議会の使命は市民福祉の向上であり、市政運営の衰退はあってはならないと認識しています。議会運営の工夫やさらなる議員の資質向上を図り、市民福祉の向上に今後も全力で取り組んでまいります。

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見(市の規模)
考え方	他市議会の状況も参考になることと思いますが、それぞれの市の面積やそれぞれの市議会の歴史的経緯などもあり、人口規模等が比較要素ではないものと考え検討を行ってまいりました。

ご意見区分	素案(24人)に反対のご意見
考え方	ご意見として承ります。検討結果は答申をご覧ください。

ご意見区分	素案(24人)に賛成のご意見
考え方	ご意見として承ります。

ご意見区分	検討に対するご意見(委員数、議長の中立性確保)
考え方	本市議会は委員会主義をとっており、委員会審査は議会の意思決定をするうえで最も重要です。審査充実のために委員数の検討は必要であったと考えています。素案検討のなかで人数を確定するときに議長の中立性確保を考慮しました。

ご意見区分	検討に関するご意見
考え方	ご意見として承ります。

ご意見区分	議会活動に関するご意見(民意吸収機能の強化)
考え方	ご意見として承ります。より多くの市民の皆さまのご意見をお聴きする方法については議会のなかで今後も検討していきます。

ご意見区分	議員に対するご意見(質の向上)
考え方	ご意見として承ります。議会、議員活動の参考となるご意見を重く受け止め、今後の活動に生かしていきたいと考えます。

ご意見区分	市政に関するご意見
考え方	ご意見として承ります。議会活動の参考にさせていただきます。

ご意見区分	パブリックコメント募集に対するご意見
考え方	ご意見として承ります。市民の皆さまのご意見をお聴きする方法については議会のなかで今後も検討していきます。